

2026年度事業計画

自2026年4月 1日

至2027年3月31日

I 事業活動方針

当財団が管理・運営する石橋文化センターは株式会社ブリヂストン創業者であり、久留米市名誉市民である石橋正二郎氏が「世の人々の楽しみと幸福の為に」の理念のもと、地域の発展を願い1956年に建設し久留米市に寄贈された複合文化施設であり、2026年4月26日に開園70周年を迎えます。

また、石橋財団から久留米市に運営が移行された久留米市美術館及び正二郎氏の事業やひととなりを紹介する唯一の公開施設である石橋正二郎記念館は開館から10周年を迎えます。

石橋文化センターでは、これまで70年にわたり支えていただいた市民の皆様への感謝をお伝えするとともに、芸術文化と観光の両面からさらなる地域社会への貢献を目指し、様々な記念事業を実施します。

特に、開園記念日である4月26日には石橋文化ホールにおいて記念式典及びブリヂストン吹奏楽団久留米による記念コンサートを開催するほか、園内全域で記念フェスティバルを実施します。

また、昨年度試行的に開催したライトアップ・イルミネーション事業「光のミュージアム」についても、実施エリアを拡大するなど本格的に開催します。

さらに、当財団の次期基本計画（2027年度から2031年度）を策定するとともに、2025年度行った石橋文化ホールの長寿命化計画調査等業務の結果を踏まえ、久留米市と協議しながら、今後の文化ホール改修保全計画の策定に取り組みます。

久留米市美術館では、開館10周年を記念し2026年2月14日に開幕した石橋財団特別助成「美の新地平ー石橋財団アーティゾン美術館のいま」や久留米市美術館コレクション展など5つの展覧会を開催します。

また、石橋正二郎記念館では、石橋財団によるエレベーター等の設備更新や2階展示室コンテンツの一新など大幅なリニューアル工事をしていただき、同じく2月14日にリニューアルオープンしました。リニューアル後は、小中学校や各校区の自治会など子どもから大人まで幅広い方々に来館いただいています。

開園70周年という節目の年を迎えるにあたり、様々な取り組みを通じて、改めて市民の皆様“楽しみと幸福の時間”を感じていただけるよう魅力ある事業の実施と環境整備に努めてまいります。

II 重点的な取組み

1 石橋文化センター開園 70 周年記念事業

石橋文化センター開園 70 周年を記念し、様々なイベントを実施するとともに、園内等の環境整備や様々な媒体での広報宣伝を行います

(1) イベント実施

開園 70 周年記念式典・記念コンサート (4 月 26 日)

開園記念フェスティバル (4 月 25 日・26 日)

周年事業として年間を通した文化ホールでの鑑賞事業

季節に応じた園内イベント

(2) 広報宣伝

開園 70 周年特設サイトや記念動画を活用した広報宣伝

開園 70 周年記念誌及び記録映像の制作

2 久留米市美術館開館 10 周年記念事業

2016 年 11 月に開館し、この秋に開館 10 周年を迎える久留米市美術館では、石橋財団の最新の名品展や、10 年間の収集作品だけで構成する参加型の展覧会など 5 本の記念企画を行うとともに、リニューアルした石橋正二郎記念館の入館促進を図ります。

(1) 「美術館開館 10 周年記念展 美の新地平ー石橋財団アーティゾン美術館のいま」※公益財団法人石橋財団特別助成

意欲的に作品を収集し、さらに進化を続ける石橋財団アーティゾン美術館。久留米市美術館開館 10 周年記念展の幕開けとして、2つの美術館の長い歴史を背景に、市民に馴染み深い作品からアーティゾン美術館以外では日本初公開となる新収蔵品まで名品の数々を展示します。

(2) 「開館 10 周年・コレクション ing コレクションをともに見る・語る」

最初の一点である坂本繁二郎「放水路の雲」から収集を続けてきた久留米市美術館のコレクション展です。10 年目の今回は、学芸員の推し作品を展示し、来館された皆さんの作家・作品への思いを共有しながら、ともに作り上げていく参加型の展覧会に挑戦します。

(3) 石橋正二郎記念館の運営

2026年2月14日に公益財団法人石橋財団のご寄付によりリニューアルオープンした記念館の展示室では、ITインフラの導入や展示のデジタル化に加え、模型展示を取り入れるなど、子ども、外国人、シニア、障害のある方など、多様な来館者が学びながら楽しむことができる内容へと充実が図られました。今年度は、リニューアルした記念館の魅力を広く発信し、さらなる利用促進と来館者の拡大に努めてまいります。

3 ライトアップ&イルミネーション「光のミュージアム」

前年度に試行的に初めて開催したライトアップ&イルミネーションについて、エリア拡大と電飾の充実を図るなど本格的に実施します。実施にあたっては、SNS等も活用しながら広報宣伝に努め、広域からの集客を図ります。

4 文化振興会次期基本計画の策定と文化ホール改修保全計画の策定

久留米文化振興会の現基本計画（2021年度から2025年度）が2025年度末までの計画期間となっていますが、2026年度は文化センター開園70周年及び久留米市美術館開館10周年を迎え、特別な年として様々な周年事業を実施することや久留米市において2025年度1年間かけて策定された久留米市文化芸術振興計画(2026年度から2030年度)との十分な整合を図るため、当財団の現基本計画を1年延長し、2026年度に次期基本計画（2027年度から2031年度）を策定します

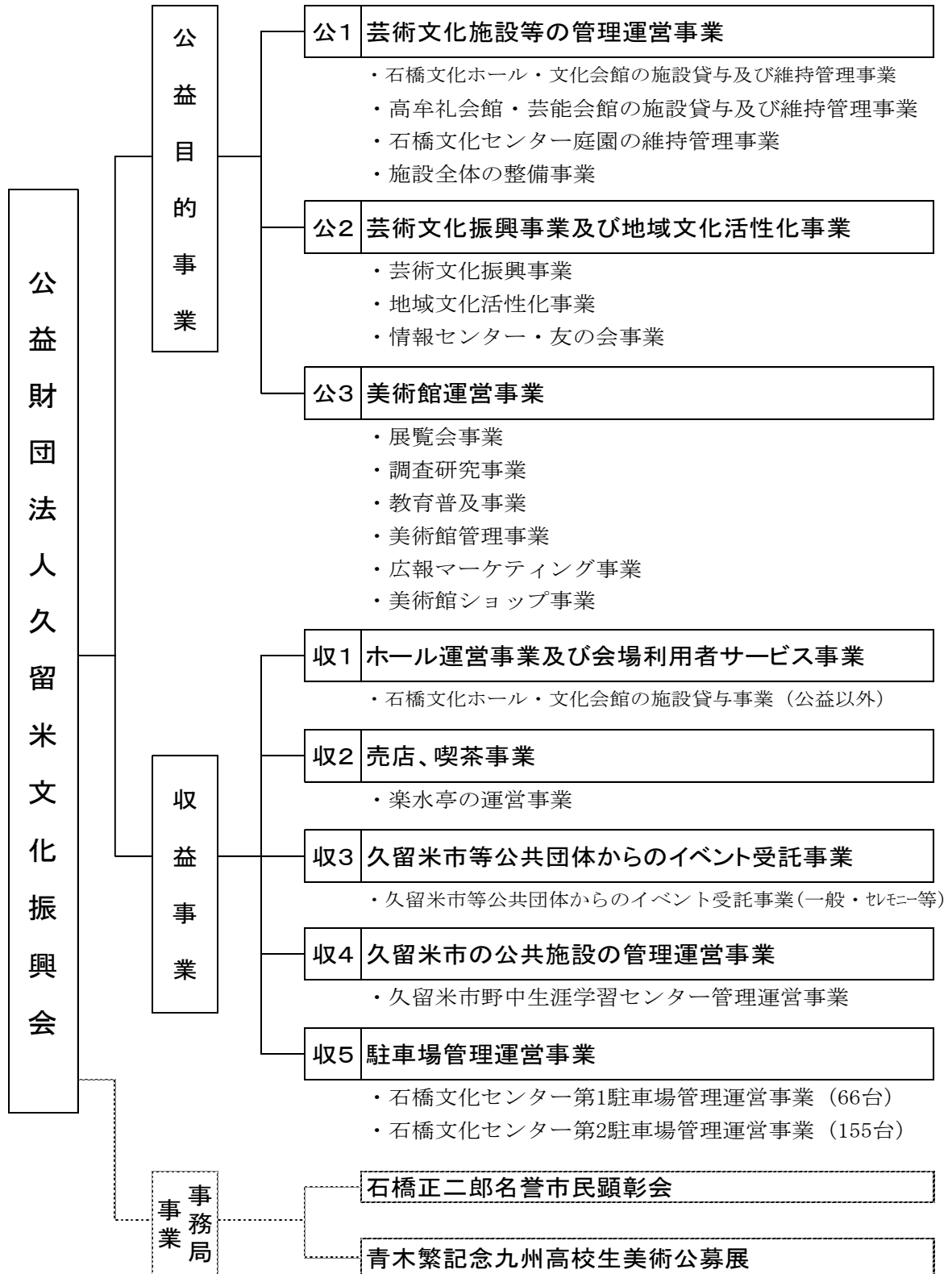
また、文化ホールの改修保全計画については、2025年度に実施した長寿命化調査等業務を踏まえ、舞台設備や建築、一般設備について経年劣化（物理的な機能劣化）、性能劣化（演出の高度化や快適性等の変化による劣化）の状況とともに、将来において文化ホールが担うべき機能や性能等を考慮し、久留米市と協議しながら策定に取り組みます。

5 青木繁記念九州高校生美術公募展（事務局事業）

久留米が有する芸術的土壌を継承していくため、将来の美術にかかわる九州の高校生の育成・支援、並びに、地域芸術文化の振興を目的として、「青木繁記念九州高校生美術公募展」を開催します。2026年度の石橋文化センター開園70周年、久留米市美術館開館10周年の記念事業としてスタートし、以降、毎年実施します。

Ⅲ 事業内容

【公益財団法人久留米文化振興会事業体系】



【公益目的事業】

1 芸術文化施設の管理運営事業

石橋文化センター諸施設等を公平公正かつ利用者ニーズを踏まえた貸館事業を行うことで市民団体等の活動を支援し、地域文化の活性化を図ります。

また、安全、安心、快適にご利用いただけるように、各施設・設備を適切に維持管理するとともに、魅力ある庭園づくりを行います。

(1) 貸館事業

繰り返し利用していただくために、利用者ニーズを踏まえたサービスの一層の充実を図るとともに、日々の清掃や点検を行い、安全安心に利用できる環境整備に努めます。

① 石橋文化ホール・文化会館

優れた音響性能や市の中心部にあり、かつ、大型車両も駐車可能であるアクセスの良さなどの利点を生かし、音楽活動団体や企業、学校など様々な団体の施設利用の促進に取り組みます。

また、久留米市公共施設予約システムを本格的に導入し、利用者の利便性を高めます。

② 高牟礼会館・芸能会館

利用者が日々生き生きと満足して活動できるように、それぞれのニーズを把握しながら利用の調整を図ります。また、施設が老朽化しているため、日常の安全点検を行い、安全で安心して利用できる環境の確保に努めます。

(2) 施設の維持管理と魅力ある庭園づくり

① 施設整備事業

各施設の利用、安全面を維持向上するための整備を行います。

- ・ 石橋文化ホール受電盤改修
- ・ 石橋文化会館小ホール空調機器取替
- ・ 園内及び高牟礼会館の樹木伐採・新植

② 庭園

バラをはじめ庭園の草花・樹木について、ガーデンサポーター（ボランティア）の皆さんの協力をいただきながら、植付けや水やり、施肥、剪定など適切な維持管理を行うことで魅力ある庭園づくりに努めます。

また、昨年度、行った園路のスロープや舗装工事に引き続き、園内における段差ヶ所を改善するバリアフリー化を更に進めます。

2 芸術文化振興事業及び地域文化活性化事業

石橋文化センター開園 70 周年を記念し、周年事業として、クラシックやポップス、キッズコンサートなどの音楽、落語、朗読劇など様々な鑑賞事業を開催します。また、文化センター全体をひとつのミュージアムと捉えた事業として、アートフェスティバルとともに、ライトアップ・イルミネーション事業についてもエリアを拡大するなど本格的に実施します。

節目の年として、事業拡大と内容の充実を図り、来場者に「楽しみと幸福の時間」を提供します。

(1) 芸術文化振興事業

A 国内外の優れた芸術・舞台公演の鑑賞機会を提供する事業

- ・音楽劇「悲劇の天才画家 青木繁」DVD 上映会
- ・久留米特選 落語三人会（柳家喬太郎、柳家三三、蝶花楼桃花）
- ・辻彩奈ヴァイオリン・リサイタル
- ・鈴木亜美・後藤真希 鈴木と後藤のふたり旅 2026～LIVE SHOW～
- ・ドラゴンクエストコンサート（九州交響楽団）
- ・戯曲音劇「銀河鉄道の夜」（梶裕貴、浦和希、室井海人）
- ・宮田大&福間洸太郎デュオ・リサイタル

B 市民参加の文化振興事業

- ・第 37 回くるめ新人演奏会（新人音楽家によるコンサート）
- ・第 38 回くるめ音楽祭（吹奏楽祭・合唱祭・アンサンブルフェスティバル）
- ・第 55 回ニューイヤール・バンド・フェスティバル（吹奏楽合同バンド）

C 石橋文化センターミュージアム化事業

- ・石橋文化センター開園 70 周年記念フェスティバル
- ・子どもや大学生等の創造力を活かしたアートフェスティバル
- ・ライトアップ&イルミネーション「光のミュージアム」
- ・ミュージアムコンサート
- ・ハロウィン、クリスマス等の季節に合わせたミュージアムイベント

D 次代を担う子どもたちと創り楽しむ事業

- ・0 歳からのキッズコンサート
- ・つくって♪ならそう♪こども音楽会
- ・ケロポンズファミリーコンサート
- ・古典芸能、音楽等の体験を行う学校への芸術家等派遣（受託）
- ・TEENS' MUSIC PROJECT（受託）

(2) 地域文化活性化事業

- A 文化センター園内や美術館・石橋正二郎記念館を活用した事業
バラやつばきなど四季折々の魅力をテーマとしたイベントにおいて、コンサートやワークショップ、マルシェなどを開催します。
- ・春・秋のバラフェア
 - ・初夏の花まつり
 - ・石橋文化センターの「夏祭り」
 - ・もみじまつり
 - ・春の花まつり（梅・つばき・さくら・チューリップまつり）
- B 久留米市内の各地域でコンサート等を実施する市民参加の事業（受託）
市民が音楽に触れる機会を提供するため、市内各地でコンサート等を実施します。
- ・箏曲の演奏会
 - ・六角堂広場ランチタイムコンサート

(3) 情報センター・友の会事業

- A 情報誌の発行・ホームページの運営
- ・情報誌「みどりのリズム」の隔月発行
 - ・石橋文化センターホームページ、公式LINE・インスタグラムなどSNSを活用した情報発信
 - ・開園 70 周年特設サイト及び PR 動画による 70 年の歩みや記念事業の PR
- B 友の会事業（石橋文化センター&久留米市美術館メンバーシップ「みゅへず」）
美術館主催展覧会の年間フリーパスを主な特典とするとともに、鑑賞事業やイベント等の情報をタイムリーに提供することで会員の増加を図ります。
- C 情報センター事業
石橋文化会館1階に加え、久留米シティプラザ内の「石橋文化センター情報サテライト」において、石橋文化センターや久留米市美術館の情報を発信します。また、市民団体等の催事情報もお知らせします。

3 美術館運営事業

石橋文化センターの中核施設である美術館は、2026年に前身の石橋美術館開館から70周年を迎えるとともに、久留米市美術館への運営移行及び石橋正二郎記念館開館から10周年を迎えます。

周年の記念展とともに美術館運営の基本方針に基づき、九州近代洋画を中心としたコレクションの収集や久留米にゆかりのある画家たちの展覧会などを開催するなど市民に親しまれる美術館を目指し、指定管理者としての管理運営を行います。

(1) 展覧会事業

今年度は、開館10周年記念展として、古今の名画やデザインの名作を展観する5本の展覧会を開催します。

- ① 開館10周年記念展 美の新地平-石橋財団アーティゾン美術館のいま
2026年2月14日(土)～5月24日(日)
※公益財団法人石橋財団特別助成
- ② 開館10周年特別展 アルベール・マルケ展
2026年6月9日(火)～7月29日(水)
- ③ 開館10周年ちくごist 河北秀也 デザインの旅
2026年8月8日(土)～10月12日(月・祝)
- ④ 開館10周年コレクションing コレクションをともに見る・語る
2026年10月24日(土)～2027年1月11日(月・祝)
- ⑤ 町田市立国際版画美術館所蔵 長谷川潔展-パリに生きた銅版画家の軌跡
2027年1月23日(土)～3月28日(日)

(2) 石橋正二郎記念館の運営

2026年2月にリニューアルした展示室では、新たに導入された模型や大型ディスプレイ等により、正二郎の事業や人となりをより分かりやすく、より深く知ることができるようになりました。美術館来館者の誘導だけでなく、子どもたちの学習や企業・市民団体等の研修などでも活用できるよう、関係機関とも連携を図ります。

また、記念館でのコンサートやワークショップ等では、1階の図録閲覧コーナーや2階ロビーを活用し、より多くの方に親しみをもって来館いただけるよう取り組みます。

- (3) 調査研究事業
 - ・ 作品収集、展示企画、保存・修復のための調査研究
 - ・ 研究成果の蓄積、発表、地域への還元
 - ・ デジタルアーカイブシステム(K-Dash)による関連資料のデータ化

- (4) 教育普及事業
 - ・ 展覧会ごとの美術講座や体験講座、ギャラリートーク等の実施
 - ・ 団体鑑賞の受入れ
 - ・ 博物館実習の受入れ
 - ・ 美術館ボランティア活動の支援

- (5) 美術館管理事業
 - ・ 作品の保管や鑑賞に適した建物・空調設備などの維持管理
 - ・ 1階ギャラリー貸与事業

- (6) 広報マーケティング事業
 - ・ 美術館活動に関する情報発信 (SNS 等含む)

- (7) 美術館ショップ事業
 - ・ 所蔵品や展覧会の図録、関連書籍、ミュージアムグッズなどの販売
 - ・ 絵はがきほかオリジナル商品の販売

4 協賛・寄付制度

協賛制度は、久留米市美術館の開館を契機に石橋文化センターをひとつのミュージアムと捉えた活動の展開や久留米市美術館と石橋文化センター事業の支援を図るために創設した制度です。

今年度もより多くの企業、団体、個人の皆様に参加していただけるよう制度の周知に努めます。

また、来園者の皆様に魅力ある庭園づくりのための寄付も募ります。

【収益事業】

1 ホール運営事業及び会場利用者サービス事業

利用者のニーズを適切に把握し、看板や追加備品、装飾など、外注によるサービス提供についても積極的に提案し、利用者の負担軽減と包括的なサービス提供による利便性向上に努めます。

2 売店・喫茶事業

楽水亭では、店舗全体のコンセプトの見直しや効率的な運営を図る視点から、メニューの開発・改編やギャラリーショップの商品入れ替えを行います。また、物価高に対応した価格の改定等も行なうなど、店舗全体の魅力向上と運営改善に取り組みます。

3 久留米市等公共団体からのイベント受託事業（一般事業受託）

久留米市から委託された式典等について、当財団のノウハウを活かし円滑な開催に寄与します。

4 久留米市の公共施設の管理運営事業

(1) 久留米市野中生涯学習センター（5年間の指定管理期間の2年目）

石橋文化センターに隣接していることから、文化センターと連携した事業等を行うなど、効果的効率的な管理運営を図ります。また、久留米市との協定に基づき、公平・公正な利用とさらなる利用者サービスの向上に努めます。

(2) 久留米市民交流センター（久留米市庁舎2階）

久留米市では2026年4月1日以降の施設予約を停止し、指定管理者制度を導入する施設ではなくなったことから、2025年度で管理運営を終了しました。

5 駐車場管理運営事業

石橋文化ホール、美術館、園内イベントによる利用状況を事前に予測し、適切に警備員を配置することにより、安全な駐車場管理に努めます。

また、石橋文化センター及び周辺への観光を目的とした大型バスの駐車場利用についても、可能な限り受け入れ、駐車場の有効活用に取り組みます。

【事務局事業】

1 石橋正二郎名誉市民顕彰会

顕彰会では、石橋正二郎名誉市民の理念を広く伝える事業を実施します。

- ・墓前祭の実施
- ・久留米市美術館 講演と展覧会鑑賞の開催
- ・ゆかりの地見学会

2 青木繁記念九州高校生美術公募展

久留米市は、青木繁や坂本繁二郎などの著名な画家を輩出するとともに、石橋美術館の半世紀を超える歴史と伝統があるなど、芸術的土壌を有しています。

これらを、今後も世代を超えて受け継いでいくため、将来の美術にかかわる高校生の育成・支援、並びに、地域芸術文化の振興を目的に、九州の高校生を対象とした、絵画、デザイン、立体作品などの公募展を開催します。

2026年度の石橋文化センター開園70周年、久留米市美術館開館10周年の記念事業としてスタートし、毎年実施します。